



食品産業文化振興会



10月定例セミナーのご案内

テーマ

# アラスカ水産業の現状と日本市場

海外に原料を依存する日本は世界から買い負け状態にあるとされている。水産加工原料においてもその例外ではない。アラスカサーモンの対日戦略とアメリカ側から見た日本市場についてご意見をお伺いするとともに、2011年1月4日に成立した米国食品安全強化法についてもお聞きする。水産資源を素材原料に使用している企業の皆様の参加をお進めします。

講演会 15:00~16:30

- アラスカ産水産物市場の国際化
- 天然、持続性のある漁業
- 日本市場の魅力低下
- 米国食品安全強化法について

講師

アメリカ大使館 商務部

水産専門官 浅川知廣氏

《プロフィール》

1975年州立オレゴン大学数学科卒業。1976~82年、都内商社勤務でアラスカ産水産物等の輸入を担当。1982~87年、アラスカ州政府東京事務所水産物、林産物、エネルギーの対日輸出市場開発を担当。1987年より現職で商務省海洋漁業局の代表としてアメリカ産水産物の対日輸出促進を担当。2002年に韓国、中国、香港、台湾へ業務を拡大。

● 日時：平成23年 10月 14日(金) 15:00~16:30

● 会場：アキバプラザ EXルーム

＜千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル＞

● ご参加：食品産業文化振興会会員

無料

一般受講ご希望者

1万円（税込）

日本食糧新聞社・食品産業文化振興会事務局

電話 03-3432-4664 FAX 03-3459-4654

〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第1南桜ビル

セミナー情報： <http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>